【広域ブロック自立施策等推進調査】

フォローアップ報告書

調査名		地域底力強化のための新たな交流連携推進調査(地域産業の担い手及び支援人材育成推進調査)	
調査	幹事府省(庁)局課名	経済産業省中国経済産業局	
主体	関係府省(庁)局課名等		
調査地域		中国圏全域	
調査年度		平成21年度	
配分額		8, 022千円	
調査概要	調査内容	経済産業省では、農林水産業と商業・工業等の産業間での連携(農商工連携)を支援する施策を集中的に実施し、新商品の開発や販路開拓を支援している。また、地域の強みとなる地域資源を活用した中小企業による新商品・新サービスの開発や販路開拓などについても支援を行い、地域の活性化を図っている。しかしながら、中国地域においてこのような新事業への取組により自立した地域経済の確立を目指すには解決すべき課題も多い。地域と一体となった取組などにより大きな効果を上げている事例もあるが、農林水産物やその他の地域資源が豊富に存在している場合でも、事業実施主体となる企業等が少なく、また、新たな事業に取組む際の人材やノウハウが不足している場合が多い。このため、地域の底力を発揮する仕組みづくりとして、地域産業の担い手及び支援人材の育成策を実証的に推進し、その育成手法を確立することを目的として実施した。	
	調査結果(成果)	中国地域の中山間地域市町村における地域産業の担い手及び産業支援人材育成を図る実証研修プログラムを立案し、実証研修を実施したうえで受講者へのアンケート、ヒアリング及び講師からの意見を整理し、実施に伴う課題と成果を検証した。また、先進的な取り組みを行っている地域(岡山県真庭市)をモデル地域として、バイオマス産業人材育成研修プログラムを立案、同様に実証研修を行い、受講者アンケート及びモデル地域の地元関係者の意見を整理し、実施結果を検証した上で今後の展開に関する提言を行った。以上をふまえ、地域産業の担い手・支援人材の育成カリキュラムを策定、それとともに関連事業に関しての提言を行った。	
	関係する広域地方計画	中国圏広域地方計画第3章第6項「地場産業を創出する地域資源活用プロジェクト」及び同第15項「中国圏の人づくりプロジェクト」	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	・中山間地域市町村等の産業振興への取組促進 ・地域産業の新たな担い手の確保・育成	・地域産業の担い手及び支援人材育成研修の実施・ビジネスリーダー交流会の開催 ・中山間地域の地域産業人材育成研究会(仮称)の立ち上げ 検討
フォローアップ	22年度	・「第3回地域づくり連携サミットin萩」の開催 ・中国圏広域地方計画第3章第6項に記述のある「産学官連 携」について、産学官連携の組織である協議会(真庭市バイ オマスリファイナリー事業推進協議会)の設置	・平成22年度地域新成長産業創出促進事業(中山間地域等を支えるCB/SB事業者のネットワーク構築事業)の実施(中国経済産業局)・中国地域の将来像とぞれを実現するための工程表をまとめた「ど真ん中!中国地域経済活性化プロジェクト2020」へ地域産業の担い手創出に関する記載・第2回中山間地域の地域産業の担い手及び人材育成研修の実施・研究開発拠点(真庭バイオマスラボ)の開設
	23年度	・WEBサイト(「担い手たちの挑戦」)による情報発信 ・「『地域の担い手』意見交換会&交流会in 松江及び岡山」の開催 ・地域食ブランド連携交流会(山口、米子)の開催 ・「第4会地域づくり連携サミットin庄原」の開催 ・食関連産業研究会(雲南、真庭、庄原)の開催	 ・平成23年度地域新成長産業創出促進事業(食関連産業強化事業)の実施(中国経済産業局) ・平成23年度地域団体商標制度活用に向けた中山間地域の地域産業活性化推進調査の実施(中国経済産業局)
	24年度	・WEBサイト(「担い手たちの挑戦」)による情報発信 ・食関連産業研究会(大田)の開催	・第4回中山間地域の地域産業の担い手及び人材育成研修 の実施
	総括的評価	調査目的の達成状況とその要因 今回の調査により把握した産業振興及び人材育成の成功事例の要因等を事例集としてまとめることで、講習テキストとしての活用等、調査結果の一層の普及に繋がった。また、今回の調査結果を踏まえて、地域産業の担い手及び産業支援人材の育成のための研修が実施された。以上のことから、当初期待された効果は達成されたと考えられる。 調査手法の妥当性 アンケートの実施や実証研修結果をもとにした人材育成研修プログラム策定等により、課題やフォローすべき事項が明らかになり、本調査の成果は地域の産業創出促進事業や人材育成及び交流連携促進に寄与したことから、調査手法は妥当であったと考えられる。	